

指定都市市長会 第1回文化芸術・教育部会での論点等の整理と第2回部会における検討の方向性

検討テーマ

我が国では、地域固有の生活文化(衣食住、共生社会(自然を含む)、子どもの学び・育ち、健康長寿等)が日常生活の中で育まれ、家庭(親子)や地域コミュニティにおいて、大切に引き継がれてきた。これらの生活文化を基盤として、さらに創造的に文化芸術を発展させていくことが求められている。

国においては、昨年6月に文化芸術基本法を施行し、同法に生活文化の振興を明記した上で、新・文化庁の全面的移転を見据え、文化庁の機能強化を図り、生活文化をはじめ、経済、共生社会などへも政策対象を拡大する方針である。

我々指定都市は、我が国の文化行政を牽引する存在として、各都市における様々な取組事例を共有し、学びあい、今後の発展方策を検討した上で、国に対して提言を行う。

➤ 「文化と経済の融合」

「文化経済戦略」の策定など、現在、我が国において、文化への戦略的投資が経済成長の起爆剤になるとの認識のもと、国・地方自治体・企業・個人が一体となり、文化芸術振興と経済成長の好循環を目指すことが求められている。

➤ 「文化芸術による共生社会の実現」

文化芸術が多様な価値観を尊重し、他者との相互理解を進める社会包摂の機能を有するという認識のもと、地域社会の多様な主体が文化芸術活動へ参加することなどを通じて、共生社会の実現を目指していくことが重要となっている。

部 会 構 成 市 の 主 な 施 策		第1回部会で提起された主な課題	第2回部会における検討の方向性		
文化と経済の融合	「まちが劇場」の推進(シビックプライドの醸成、交流人口の増加による地域経済活性化)、駿府城跡天守台発掘調査見える化事業、三保松原ピクニックセンター建設事業 等	静岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術の作り手・担い手に資金が適切に還流しない → 流通の在り方、民間事業者との連携 ・文化財の保存と活用の在り方 → 保存と活用のバランス、付加価値創出 ・地域固有の生活文化の振興・継承 → 地域固有の文化を深化させる視点 ・文化への戦略的な投資の拡大 → 文化芸術への支出が「投資」であることに対する国民的理解の醸成 ・文化政策を都市経営の根幹に据える → まちづくり、保健福祉、産業、環境などの政策分野に「文化」の視点を据える 	<p>【基本的視点】</p> <p>分野横断的な施策に「文化」の視点で横串を刺すために求められる「文化庁の機能強化」と都市の在り方</p> <p>例) ・ 文化芸術と観光、まちづくり、福祉、教育など関連分野との有機的な連携強化による施策の充実 (「創造都市(Creative City)」に向けた取組等)</p> <p>・ 文化行政の総合的な推進のための組織体制の整備、文化庁予算の大幅な拡充</p>	文化芸術が多様な価値観を尊重し、他者との相互理解を進める社会包摂の機能を有するという認識のもと、地域社会の多様な主体が文化芸術活動へ参加することなどを通じて、共生社会の実現を目指していくことが重要となっている。
	名古屋城木造天守閣の整備、名古屋城本丸御殿完成を契機とした活用事業、信長攻路～補狭間の戦い 人生大逆転街道～事業、人生大出世街道推進事業、やっとかめ文化祭	名古屋市			
	世界遺産・二条城の保存・活用推進、京都学生アートオークション、京ものアート市場開拓事業(バリの職人・アーティストとの交流による作品制作、アート市場開拓支援) 等	京都市			
	日本遺産魅力発信推進事業(日本遺産に認定されている「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～」等のストーリーに関する情報発信、普及啓発)	大阪市			
熊本遺産魅力発信事業(歴史的魅力を有する文化財群をストーリー性のある文化観光の施策として推進)、文化コンテンツ推進(フィルムコミッション連携)、くまもと復興映画祭	熊本市	<p>《国(文化庁)の施策等》</p> <p>➤ 文化庁予算の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算の約45%が文化財保護に係る経費 ・ 新たな文化創造や文化財活用に係る予算・施策も拡充するべき <p>➤ 頂点を高める「ピラミッド型」から裾野の広い「富士山型」施策への転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活文化の振興や市民に近い施策に対する支援策を拡充するべき <p>➤ 国の施策に「文化」で横串を刺す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「食文化」など省庁横断的な施策について、文化庁が総括的に推進するべき 	<p>【個別論点】</p> <p>① アート市場の創造・育成に向けた取組</p> <p>例) ・ アートオークションの開催など民間事業者との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アート市場の活性化に向けた博物館・美術館等の既存施設や学芸員をはじめとする人材の有効活用 ・ アート作品の制作者等に適切に資金が還流する流通制度の構築 ・ アート市場活性化のための国及び都市の役割 <p>② 文化芸術資源、文化財の保存と活用の好循環の創出</p> <p>例) ・ 文化・歴史資源の磨き上げによる都市魅力の向上及び観光・まちづくり等への積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財の所有者・管理者が活用による収益を自立的に文化財の修理・整備に再投資できる環境整備の促進 ・ 文化財の更なる理解促進のための多言語解説の充実、ITの活用 ・ 観光客等が文化財に関する歴史的な出来事や当時の生活を体感・体験し、文化財の付加価値を高めるプログラムの提供 <p>③ 地域固有の生活文化の振興と共生社会の実現</p> <p>例) ・ 地域固有の生活文化の振興に向けた「学校教育」との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活文化の海外発信、インバウンド向け体験事業の実施 ・ 障害者、高齢者、外国人など地域の多様な主体の参加による、共生社会の実現に向けた取組の拡充 		
新たな文化「カワサキ ハロウィン」の開催を通じた共生社会実現に向けた取組、文化関連施設におけるバリアフリー・鑑賞支援の取組	川崎市				
障害者の文化芸術活動の推進・支援	川崎市、京都市、熊本市				
「まちが劇場」プロジェクト推進事業 市民参加型舞台公演事業	静岡市				
郷土の歴史を学ぶ副読本「ナゴヤ歴史探検」の作成、アッセンブリッジ・ナゴヤ(文化を活かしたまちづくりや都市の魅力向上)	名古屋市				
文化芸術による共生社会実現のための基盤づくり事業、暮らしの文化はぐくみ事業(生活文化の親子体験など普及啓発)	京都市				
熊本市現代美術館における「文化芸術の力による心の復興」	熊本市				
【参考】文化庁の主な関連施策等(平成30年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財活用のためのセンター機能の整備(800百万円 新規) 高精細レプリカやVR等を活用したビジネスモデル創出等を行うセンター機能整備 ・文化財を通じた歴史体感プロジェクト(6,550百万円) 史跡等について、来訪者目線の復元整備等への支援、文化財で稼ぐ観念の具現化 ・アート市場活性化(50百万円 新規) 日本美術の価値向上への取組、特任学芸員の配置、外部有識者との協力体制構築 ・共生社会実現のための芸術文化活動の推進(260百万円 新規) 障害者、高齢者、青少年等を対象とした社会包摂のための芸術文化活動への支援 <p>平成30年度文化庁予算額…107,729百万円(対前年度比 3,457百万円増) ※文化庁に移管された国立博物館運営交付金2,729百万円を含む。</p>					